



渋工タイムス

発行：群馬県立渋川工業高等学校
編集：広報係

○大会結果



平成30年度高校総体

少林寺拳法

2位 全国大会出場決定

新体操

6位入賞

空手道部

男子団体組手 ベスト8

男子個人組手 3回戦進出

バレーボール部

ベスト16

剣道部

2回戦進出

卓球部

シングルス 4回戦進出

団体戦 2回戦進出

テニス部

シングルス 予選4回戦進出

バスケットボール部

2回戦進出

サッカー部

1回戦 対吉井高校 1-3

ラグビー部

初戦敗退

弓道部

各自が持てる力を出し切り奮闘

山岳部

1年生も参加する中、無事登り

きることができた

ボクシング部

個人が持てる力を出し切り奮闘

○各部活動

TOPIC

サッカー部

キャプテン(M3 木曾君)のミドルシュートで追いつき、前半1-1。

後半1点取られ、攻勢に転じるも奮闘むなしく敗退。

ラグビー部

前後半共にトライを2本リードされてしまうが追いつく。しかし、キックの4点差で敗退。生徒は粘り強く頑張った。

バスケットボール部

1回戦は90-23と大差で勝利。

2回戦は強豪の高崎商業高校に1歩も引くことなく戦ったが健闘むなしく敗退。

卓球部

各自が奮闘し4回戦進出が1名、3回戦進出が6名の結果を残すことができた。

少林寺拳法

16名中2位となり、関東・全国大会の出場権を得ることができた。



自動車研究部

ワールドエコノムープ

秋田大会

3位・6位入賞

5月5日決勝

E3久保田君が運転する「クレツセント」は本部との通信不良に見舞われるも、奮闘し約71kmを走行、3位入賞。さらに、A3太田君が運転する「ライトニング」も約69km走行し、6位入賞。

部員11名が一丸となり昨年の雪辱を果たすことができた。

顧問の栗田先生は「昨年度のバンクから雪辱を果たすべく準備をして臨んだ大会で結果が残せたことは、部員達の今後の自信になるはずです。」と語った。

